

作成日:2014年 4月30日
(前回作成日:2014年 1月31日)

アセット トライ

期間運用報告書

自:2014年 1月 1日

至:2014年 3月31日

作成者 : AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED

交付者 : 岡藤商事株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-16
コールセンター 電話 0120 (33) 7639

A. ファンドの状況

1. 資産推移(販売、解約の状況)

単位:千円

計算期間 *1	前期末*2		期中解約			期中販売			期末	
	口数	総純資産	件数	口数	総額*3	件数	口数	総額*4	口数	総純資産
1999/2/1～ 99/5/31	720.000000	720,000	0	0.000000	0	43	72.791622	70,000	792.791622	740,509
1999/6/1～ 00/5/31	792.791622	740,509	47	84.050664	78,704	52	125.839074	114,000	834.580032	799,018
2000/6/1～ 01/5/31	834.580032	799,018	40	114.758743	129,155	8	8.087742	9,000	727.909031	815,593
2001/6/1～ 02/5/31	727.909031	815,593	31	44.387643	51,035	80	138.652441	161,000	822.173829	872,581
2002/6/1～ 03/5/31	822.173829	872,581	53	215.272753	286,590	82	132.339191	175,000	739.240267	1,116,301
2003/6/1～ 04/5/31	739.240267	1,116,301	24	31.843891	45,639	192	306.840111	453,000	1,014.236487	1,414,915
2004/6/1～ 05/5/31	1,014.236487	1,414,915	45	62.586487	88,110	322	418.237374	582,000	1,369.887374	2,025,127
2005/6/1～ 06/5/31	1,369.887374	2,025,127	95	461.930128	734,344	444	732.904334	1,226,000	1,640.861580	2,862,430
2006/6/1～ 07/5/31	1,640.861580	2,862,430	159	326.531143	540,296	398	580.581296	973,000	1,894.911733	3,386,437
2007/6/1～ 08/5/31	1,894.911733	3,386,437	224	332.721437	662,243	0	0	0	1,562.190296	3,571,161
2008/6/1～ 09/5/31	1,562.190296	3,571,161	159	245.328954	551,663	0	0	0	1,316.861342	2,922,718
2009/6/1～ 10/5/31	1,316.861342	2,922,718	74	104.247836	210,683	0	0	0	1,212.613506	2,496,116
2010/6/1～ 11/5/31	1,212.613506	2,496,116	155	212.923305	466,843	0	0	0	999.690201	2,267,404
2011/6/1～ 12/5/31	999.690201	2,267,404	141	228.329614	500,833	13	11.973380	25,000	783.333967	1,823,261
2012/6/1～ 12/6/30	783.333967	1,823,261	7	6.923477	15,831	6	6.061412	14,000	782.471902	1,802,975
2012/7/1～ 12/9/30	782.471902	1,802,975	17	52.958542	113,448	1	0.434230	1,000	729.947590	1,502,033
2012/10/1～ 12/12/31	729.947590	1,502,033	17	25.218714	49,098	2	2.927532	6,000	707.656408	1,387,156
2013/1/1～ 13/3/31	707.656408	1,387,156	16	18.118185	37,722	0	0.000000	0	689.538223	1,586,848
2013/4/1～ 13/5/31	689.538223	1,586,848	11	8.004511	18,283	1	1.306068	3,000	682.839780	1,524,861
2013/6/1～ 13/6/30	682.839780	1,524,861	8	8.946261	19,778	0	0.000000	0	673.893519	1,430,596
2013/7/1～ 13/9/30	673.893519	1,430,596	6	6.845333	14,369	1	0.476394	1,000	667.524580	1,215,199
2013/10/1～ 13/12/31	667.524580	1,215,199	18	16.945663	31,252	0	0.000000	0	650.578917	1,250,794
2014/1/1～ 14/3/31	650.578917	1,250,794	12	13.841784	26,892	0	0.000000	0	636.737133	1,252,230
累計	—	—	1,359	2,622.715068	4,672,810	1,645	2,539.452201	3,813,000	—	—

注: *1 運用開始日は1999年2月1日です。

*2 運用開始時の前期末口数・総純資産は、初回販売口数・総純資産となっております。

*3 期中解約総額は、解約手数料が差し引かれております。

*4 期中販売総額には、販売手数料が含まれておりません。

*5 期中販売及び期中解約の件数、口数及び件数は、払込期限及び解約手続基準日の翌月に反映しております。

2. 運用実績推移(1口当たり)

単位:円

計算期間 *1	前期末 純資産	期中損益	期末 純資産*2	期間 騰落率	運用開始来 騰落率*3	年平均 騰落率
1999/2/1～ 99/5/31	1,000,000	-65,947	934,053	-6.59%	-6.59%	—
1999/6/1～ 00/5/31	934,053	23,337	957,390	2.50%	-4.26%	-3.21%
2000/6/1～ 01/5/31	957,390	163,070	1,120,460	17.03%	12.05%	5.17%
2001/6/1～ 02/5/31	1,120,460	-59,150	1,061,310	-5.28%	6.13%	1.84%
2002/6/1～ 03/5/31	1,061,310	448,756	1,510,066	42.28%	51.01%	11.78%
2003/6/1～ 04/5/31	1,510,066	-115,011	1,395,055	-7.62%	39.51%	7.41%
2004/6/1～ 05/5/31	1,395,055	83,262	1,478,317	5.97%	47.83%	7.55%
2005/6/1～ 06/5/31	1,478,317	266,151	1,744,468	18.00%	74.45%	10.15%
2006/6/1～ 07/5/31	1,744,468	42,653	1,787,121	2.45%	78.71%	9.45%
2007/6/1～ 08/5/31	1,787,121	498,875	2,285,996	27.92%	128.60%	13.78%
2008/6/1～ 09/5/31	2,285,996	-66,539	2,219,457	-2.91%	121.95%	11.80%
2009/6/1～ 10/5/31	2,219,457	-160,998	2,058,459	-7.25%	105.85%	9.34%
2010/6/1～ 11/5/31	2,058,459	209,647	2,268,106	10.18%	126.81%	10.28%
2011/6/1～ 12/5/31	2,268,106	41,586	2,309,692	1.83%	130.97%	9.82%
2012/6/1～ 12/6/30	2,309,692	-6,766	2,302,926	-0.29%	130.29%	9.71%
2012/7/1～ 12/9/30	2,302,926	-253,419	2,049,507	-11.00%	104.95%	7.68%
2012/10/1～ 12/12/31	2,049,507	-89,296	1,960,211	-4.36%	96.02%	6.90%
2013/1/1～ 13/3/31	1,960,211	336,758	2,296,969	17.18%	129.70%	9.15%
2013/4/1～ 13/5/31	2,296,969	-63,853	2,233,116	-2.78%	123.31%	8.60%
2013/6/1～ 13/6/30	2,233,116	-110,235	2,122,881	-4.94%	112.29%	7.79%
2013/7/1～ 13/9/30	2,122,881	-302,426	1,820,455	-14.25%	82.05%	5.59%
2013/10/1～ 13/12/31	1,820,455	102,130	1,922,585	5.61%	92.26%	6.18%
2014/1/1～ 14/3/31	1,922,585	42,480	1,965,065	2.21%	96.51%	6.36%
累計	—	965,065	—	—	—	—

注: *1 運用開始日は1999年2月1日です。

*2 期末純資産は、1口当たりの表記となっておりますので、お客様の保有口数を乗じた金額がお客様の保有する口数に対する時価となります。

*3 運用開始来騰落率は、運用開始日の1口当たり純資産価額100万円を基準として算出されています。

*4 パーセンテージの計算は小数点以下第3位を四捨五入しています。

注: 1) 純資産は、契約締結前交付書面2. 13項に基づいて算出されています。

2) 期間騰落率及び運用開始来騰落率、年平均騰落率の計算方法は、次の通りとなっております。
なお、すべて1口当たりの価額にて算出しております。

① 期間騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} - \text{期初純資産}}{\text{期初純資産}} \times 100$$

② 運用開始来騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} + \text{前期末までの配当累計} - \text{運用開始時純資産}}{\text{運用開始時純資産}} \times 100$$

③ 年平均騰落率(設定時より1年以上経過した場合のみ記載。)

$$= \text{運用開始来騰落率} \div (\text{運用日数(片端落し)} / 365)$$

B. ファンドの概況

先物顧問運用会社による運用状況

プラスに寄与したセクター	通貨	金利	株価指数	その他商品
マイナスに寄与したセクター	エネルギー	金属	農産物	

為替相場は、ドル円では当初の105円から米国が量的緩和を縮小するなかでも、新興国経済の不安が高まったことで、リスク資産の解消が進み、2月初めには一時101円割れへ円高となりました。その後は、102円前後での推移となりました。ユーロは当初のドル高から、欧州中銀(ECB)の追加緩和見直し後退でユーロ高傾向へ転じました。

主要国の短期金利は、ドル、円では低水準での横ばい推移となりましたが、ユーロでは追加緩和見通しの後退で上昇する場面も見られました。長期金利は、米国が量的緩和縮小を進めるなかでも、新興国経済の不安から株価が全面安となったことから、債券市場への資金の還流がみられ主要国では小幅ながら低下傾向となりました。

主要国の株価指数は、1月に新興国市場主導で全面安となりましたが、米国経済の堅調から米国株の反発力が強く、S&P500指数は最高値を更新しました。ただ、欧州株はウクライナ情勢の緊張が上値を抑え、期間を通じては横ばいで推移。日本株は中国経済の先行き不安や、4月の消費税増税の影響が懸念され水準を切り下げました。

原油相場は、ブレント原油はリビア産原油の輸出再開が期待され、当初の111ドルから106ドル割れへ下落しました。2月に入ると北米の寒波で需要が増加、ウクライナ情勢の緊張でロシアからのエネルギー供給に不安も強まり、3月には一時112ドルへ反発。ただ、ウクライナ緊張後退とともに反落し、期末は108ドル水準となりました。

金相場は、当初の1,204ドルから3月の1,391ドルへ上昇しました。米国の量的金融緩和が縮小されるなかでも、当面のゼロ金利維持の方針が示されたことが支援となったほか、ウクライナ情勢の緊張を背景として続伸。ただ、イエレンFRB議長の発言で米国の利上げ時期が具体化すると急反落し、期末は1,280ドル台となりました。

大豆相場は、当初は南米の大幅増産が見込まれることから1,300セント前後の横ばい推移となりました。ただ、2月に入りブラジル産地の高温乾燥で生産高の下方修正が見込まれると、米国産大豆の輸出需要増加から上昇に転じ、ウクライナ情勢を受けての穀物市場全体の上昇も後押しとなって、期末には1,460セントを上回りました。

C. 資産推移

